沙彌同宗首
彈正忠同弘規
大藏少輔同弘胤

〔舟橋方古書寫〕神通川ニ付、古來之書物之寫、左之品々、町吟味所ニ有之候事、〇中略

富山舟渡之事

一出入之在所者、代官ニといの事申付之事、

一商人ニは、壹錢宛可取之事、

一奉公人ニは、一切不可取之事、

右相定所如件

天正十六十二月九日印

五郎兵衞殿

〔徳川禁令考三十五渡船船〕慶長十七子年五月廿七日

荷物船賃之定

定

一割印なき船に、商賣の荷物積べからざる事、

一渡船之事、商人荷壹駄ニ四拾貫目付、京錢拾文可取之、乘掛ケも馬人共ニ拾文也、

附富士路肴之船賃、可爲右同前、但參詣之分は五文可取之、

一船賃相定上は、往還は無恙樣、舟越可渡事、

右條々於相背族は、可爲曲事者也、

慶長十七年五月廿七日

伊賀守